

1 ニセ電話気づかせ隊の参加団体・参加人数（平成30年5月末現在）

参加団体数 11, 131 団体 （前月比+507 団体）	参加人数 34万2, 910人 （前月比+416人）
----------------------------------	-------------------------------

2 被害阻止件数・阻止

	阻止件数	阻止額
平成30年5月単月	35件	1, 334万円
平成30年1月～5月	287件	1億7, 210万円
平成29年1月～5月	305件	2億1, 241万円

3 阻止好事例

① コンビニ店員による阻止（電子マネー型）

被害者の携帯電話に「会員登録された」旨のメールが届いたため、退会手続きを行うためメールで返信したところ、退会の事務手数料をコンビニの電子マネーで購入して支払うよう指示された。

阻止者は、来店した被害者から電子マネーの場所を聞かれたことから、購入理由を確認したところ、説明が曖昧で語ろうとしなかったことを不審に思い、再度、購入理由を詳細に聞くなどしてニセ電話詐欺であると判断し、被害者を説得し警察に届出させて、被害を未然に防止したもの。

② コンビニ店員による阻止（収納代行利用型）

被害者の携帯電話に「パソコン代の未納金がある。」旨の架電があり、コンビニで支払いをするように指示され、13桁の番号を告げられた。

レジ業務従事中の阻止者①は、来店した被害者から「支払いをする」と言って、13桁の番号を告げられたが、同番号をレジに打ち込むと、10万円の高額な支払い額であることが判明した。

よって、ニセ電話詐欺を疑い被害者に支払い理由を確認するも説明の内容が不自然であったことから、阻止者②に相談したところ、阻止者②は被害者が常連客であり、普段の利用状況から収納代行を利用すると思えなかったことから、警察に通報し、被害を未然に防止したもの。